「ぶんせき」誌の情報発信

山　口　　　央

7月に入って猛暑が本格化した今年の夏，今号が発行される9月においても続いているものと思われます．地球温暖化の影響か，過ごしやすい秋や春の期間が短くなってきている現在，私たちのライフスタイルもだんだんと変わってきています．

本会機関誌の「ぶんせき」は，分析化学の基礎や応用にかかわる「入門講座」，「解説」，本会と会員を結びつけるための「話題」，「こんにちは」といった記事を発刊当時から継続的に発信しています．特に基礎と応用に関する記事は，分析化学にかかわる技術者，研究者にも役立つものであり，2021年から再録集も出版されていますので，ご活用いただければと思います．一方で，インターネットやスマートフォンなど情報端末の発展により情報発信の方法も多様化する現在，掲載内容や発信方法をどのようにすべきか悩ましいところです．特に現在の学生会員は冊子としての「ぶんせき」誌を知らない世代であり，電子媒体である「ぶんせき」誌を若い会員の方達にどのようにアピールしていくか，編集委員会でも試行錯誤しています．そのような中，「飛躍する若手研究者」という企画が始まりました．これは，本会や研究懇談会支部が主催する学術集会などで受賞した若手研究者が，受賞対象となった研究について紹介するものです．これまでにも学会賞や奨励賞，「分析化学」論文賞についての情報は，「ぶんせき」誌でも発信してきています．それに対して，本企画の主旨は本会を担う若手研究者の栄誉を称えると共に，今後の人的交流の一助になればというものです．第一弾は，第45回キャピラリー電気泳動シンポジウムにおける優秀ポスター発表賞受賞者からの寄稿で，7月号に掲載されています．内容としては，受賞された研究内容の紹介だけでなく，関心のある研究分野や技術，将来の夢など若い研究者の熱い思いが伝わってきます．分析化学会のHPから閲覧できますので，是非ともご一読ください．また，会員の皆様のお仲間や指導学生などに，「飛躍する若手研究者」の企画記事について広めていただけると幸いです．

「ぶんせき」誌は，分析化学会のホームページで公開しているほかに，掲載内容をメールマガジンで発信しています．メールマガジンという発信方法が今の時代に合わなくなってきていますが，SNS等での発信も一長一短があります．情報発信について新しいアイディアをお持ちの会員の皆様は，お近くの編集委員にご提供いただければ幸いです．どうぞよろしくお願い申し上げます．

〔Yamaguchi Akira，茨城大学理工学研究科，ぶんせき編集理事〕